

優秀賞

応募者：鶴丸 拓也さん（30代、東京都在住）

アイデア（アプリ）名	食材育成アプリ		
テーマ	・規則正しい食生活 ・地産地消	・栄養バランスのとれた食事 ・食品ロスの削減	・伝統料理や郷土料理の伝承 ・食品安全 ・その他（生産現場への理解）
アプリの概要（どんなアプリなのか。箇条書きでも可）			
<ul style="list-style-type: none">・選択した食材をアプリ上で育て、食べられるようになるまでの過程や育てる喜び、生産現場の苦労を学ぶ学習アプリ・育てている食材は、アプリ上にイラスト又は画像で確認でき、成長過程によって実際のもの同様に大きさや見た目を変える。・育てられる農産物（タマネギやトマト、なし、リンゴ、ネギ）、畜産物（牛、豚、鶏）、水産物（養殖、栽培漁業）は徐々に増やしてバリエーションに富み、継続的に利用できるアプリとする。配信時期は、旬や実際の栽培時期とリンクしたものとして、より生産の現場を感じられるものとする。・育て切った人の中から抽選で、育てたものの実物が当たる（牛なら氷見牛、なしなら呉羽なし など）。			
アプリの特徴（何をやるアプリなのか？どのように使うのか？どのような機能があるか？など）			
<ul style="list-style-type: none">・育てる過程で、一定確率で発生する天候や病気などのイベントで、食を支える難しさや苦労を理解し、産地や生産者を応援したくなる・様々な食材の利用方法や豆知識（どんな花が咲くのか、どうやって収穫するのか、美味しくする工夫）なども同時に学べるものとする。・富山県内の特産地や生産場所、買うことができる場所などの情報も得られるものとする。消費行動にまでつながる。・出来上がったもの（育てたもの）は、アプリ上の図鑑に登録されていき、登録された食材は、ユーザー同士で交換したり、合わせて作れる伝統料理を含めた料理のレシピも調べられる。・生産者の苦労を感じたユーザーから、生産者への応援の声などをアプリ上で送信することで、生産者がそれを見られるような機能を持ち、消費者（アプリユーザー）から生産者へ直接思いを伝えられるツールとなる。			

○審査委員からのコメント

- ・いろんな知識が得られるという点で、子どもにも役立つ。
- ・世話をすると植物が育っていく内容で、子どもと母親が一緒に使うと楽しいと感じた。
- ・この作品だけ生産者側を知ることができる内容で、軽々しくフードロスをできなくしようといった取組につながる。
- ・生産者の苦労を知ることによって食を大事にする子どもに育つのではないか。さらに育てる楽しさもある。アプリで育てた野菜のレシピも見られるので楽しい。